

活性化モデル商店街の概要

商店街名：蒲郡商店街振興組合

●キャッチフレーズ

食べる！見る！買う！蒲郡商店街

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

近年の地場産業の衰退や、地域経済の停滞、郊外を中心とした大規模商業施設やコンビニエンスストアの進出による売上の低迷により、厳しい状況に置かれている。

【課題】

店主の高齢化や後継者不足による空き店舗の増加により、市民の買い物ニーズに対して十分にこたえることができない状態になりつつある。

【対策】

商店街を歩行者天国にして行うテント市「福寿稲荷ごりやく市」を核としたイベントの実施や、空き店舗の解消、個店への集客に繋がる仕掛け作り、地域団体との連携による人材発掘、不足業種出店など、一度訪れた人がまた足を運びたくなるような商店街を目指す。

◎具体的に取組む事業内容

○福寿稲荷ごりやく市事業

- ・ごりやく市と連携して平常時に「まちゼミ」事業を実施（28年度）
- ・近隣高校の学生による太鼓演奏、ごりやく市80回記念イベントの実施（29年度）
- ・ごりやく市での不足業種の出店、マスコットキャラクター「こんきち」のデザインを掲載した商品開発（30年度）
- ・学生やボランティアによるブースの出店、ごりやく市90回記念及び15周年記念イベントの実施（31年度）
- ・商店街の個店の集客増加に繋がる仕掛け作りの実施、ごりやく市100回記念イベントの実施（32年度）

○蒲郡商店街振興組合空き店舗対策事業費補助金（28年度～32年度）